

○提言の主なポイント

【基本構想】

【学部・学科の構成】

- 国際交流や産業・地域の課題を「国際」「地域」の両面から研究する「国際政策学部」
- 人間形成・生活環境の課題を「人間」の視点から研究する「人間生活学部」

【教育方法の特徴】

- 実践的な教育課程の充実
- 地域に根ざした職業教育の展開
- 社会人教育の充実

【運営方法】

- 運営は、独立行政法人を基本に検討
- 県内の高等教育機関及び産業界との連携を重視する
- 本県が抱える諸課題に対応するシンクタンク機能の充実

【懇談会での意見概要】

(1) フレキシブルな教育体制構築

- ・学際的な教育・研究活動の支援
- ・達成目標を明確にしたカリキュラムの実施
- ・学習意欲と職業観の醸成

(2) 特色ある教育の展開

- ・教養教育の充実
- ・「国際性」を重視した特色ある語学教育の実施
- ・インターンシップ等の推進
- ・「国際化への対応」

(1) 権限と責任の明確化による自主的・自律的な大学運営

(2) 運営や研究活動等の積極的な情報発信

(3) 他大学等との地域ネットワークの構築

【提言のポイント】

●学類構成について

- 選択の自由度の高い「学類」の設置
- 「国際政治経済」分野を中心にした学問分野の再構成

●実践的語学力の修得

- 英語使用を基本とする講義や小人数教育の実施
- 留学を卒業要件に含めるなど、多様な留学システムの導入
- 海外大学との提携促進による積極的な留学生の受入

●大学運営

- 教学と経営の専門分化

●運営基盤の充実

- 首都圏を中心にした情報発信拠点の整備
- 他大学との連携を視野に入れた大学院設置の展望